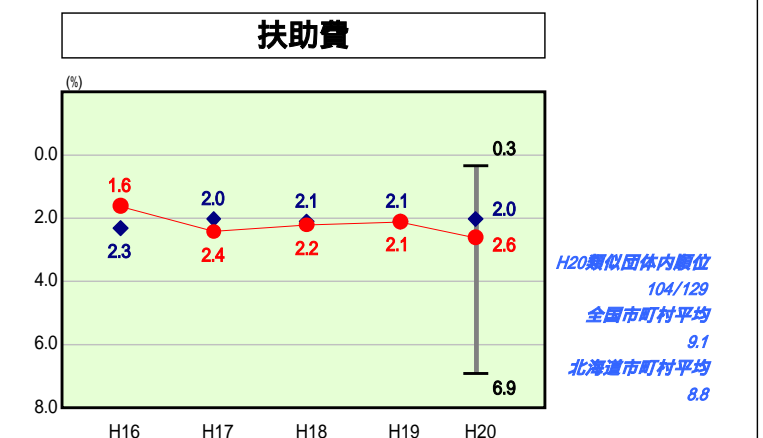
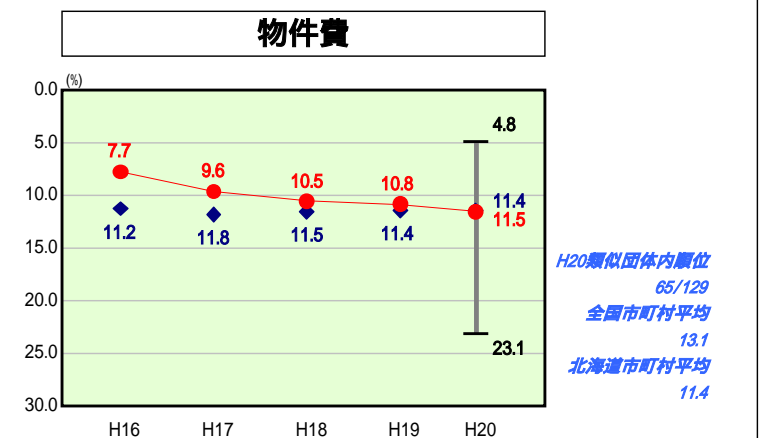
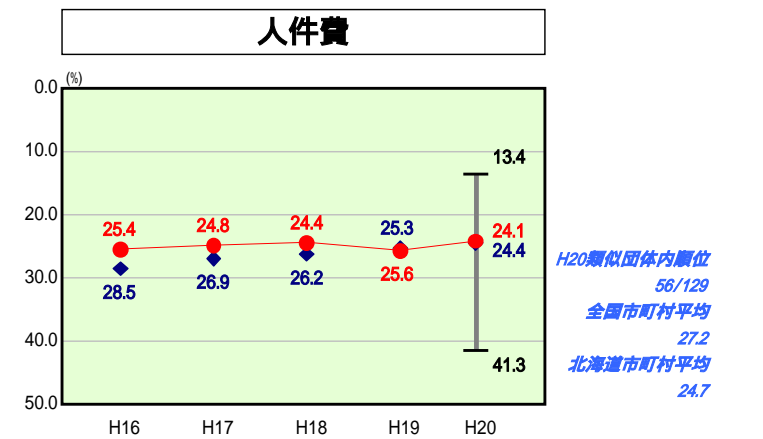
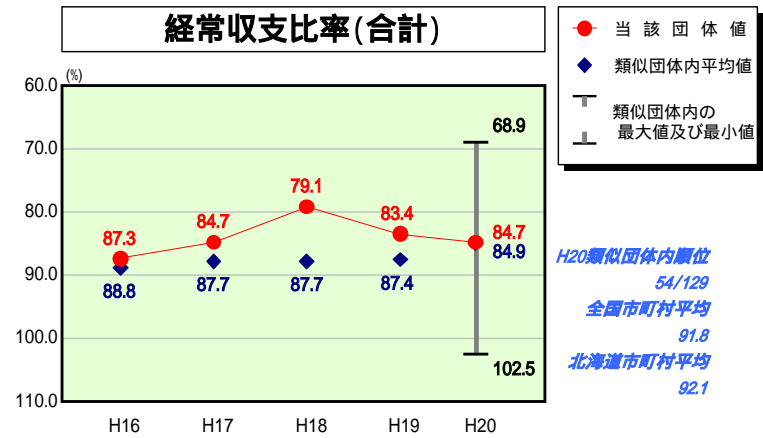
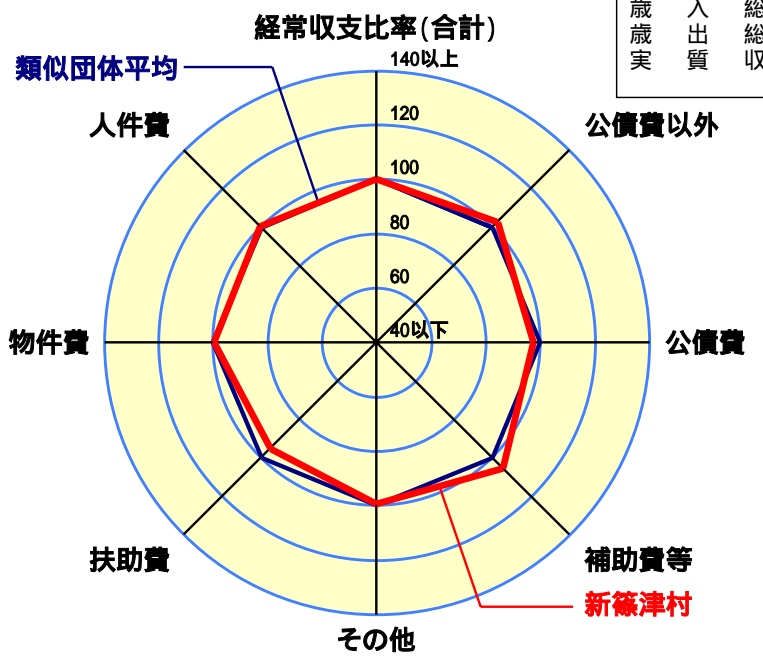


# 歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

## 経常収支比率の分析



人口	3,681人(H21.3.31現在)
面積	78.24 km <sup>2</sup>
標準財政規模	1,974,267千円
歳入総額	3,123,911千円
歳出総額	3,024,380千円
実質収支	42,840千円



- 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

**分析欄**

**人件費:** 類似団体平均よりも若干低い数値となっておりますが、集中改革プラン等の効果や組織機構見直しの効果が現れています。これからも適正な人件費や、サービスの向上に努めていきます。

**公債費:** 類似団体平均よりも若干高い数値になっております。その要因は、過去に行った普通建設事業による償還額によるものでありますが、大きな事業負担を当該年度みの負担で行っていくことは、世代間負担の公平性からみても適正であるとは言えません。そのため、必要である大きな事業につきましては、地方債を借り入れることとし、公債費で償還していくこととしていきます。これからも、地方債の借入れを伴う大きな事業につきましては、十分検討し、出来る限り抑制しながら、財政の健全化に努めていきます。

**普通建設事業費:** 人口1人当たりの決算額は、類似団体と比較すると低くなっております。これは、大きな事業が一端終了したことや、道営土地改良事業が年々減少傾向にあるためです。今後も財政運営を常に見極めながら、必要である事業につきましては、まちづくり計画を基本に取組み、村の着実なる発展を推進してまいります。

